

## 県民会館の改修について

### 現状

- 複合文化施設として、①特別会議室などの各種会議室、②ホール、③美術館・ギャラリー・展示室、④教養文化教室等の幅広い用途に利用
- 県民の芸術文化活動の中核施設として、年間約60万人の方々が利用**

### ●耐震性の不足

会議室棟のIs値は**全ての階において耐震基準を満たしていない**(最低値0.336)

### ●施設設備の老朽化

(建築から49年経過)  
空調設備、給排水設備等の老朽化、舞台公演や美術展等への影響が懸念

○2015年春の北陸新幹線開業までの完成を目指す

### 改修イメージ

新幹線開業に向け、県都の正面玄関にふさわしい施設としてリニューアル

#### 1 耐震性の確保

○ **免震工法の採用**

#### 2 老朽化への対応

- 空調等の設備更新や外壁改修
- 会議室や楽屋などの内装のリニューアル

#### 3 利用者の利便性への配慮

- 1、2階ロビーを結ぶ**エスカレーターの新設**
- **女子トイレの増設・全館トイレの改修**
- **ホール客席の取替え**

#### 4 施設の魅力向上

- 展示室への調光照明の導入
- **ホール舞台の奥行き拡大**(仮設舞台の設置)



外観イメージ



エスカレーターのあるロビー

平成26年当初予算額：38億5千5百万円

## 高岡文化ホール、新川文化ホールの改修について

### 高岡文化ホール

(昭和61年竣工)



### 現状

- ホール、ギャラリー、展示場、会議室及び和室を備え多様な催事に対応
- 高岡市を中心とした県西部の芸術文化振興のための中核的な拠点施設
- 施設設備の老朽化等(築27年)により利用者ニーズへの対応不可

### 整備計画

- 施設設備の老朽化に伴い計画的に改修を実施
- 利用者等からの改善要望等について長期的な検討が必要

＜H26改修予算 55,600千円＞

- 小ホール照明設備デジタル化：多様な照明演出が可能
- 大ホールスピーカー更新：雑音などの音質劣化が顕著
- バリアフリー化改修：トイレ様式化、車いす用階段昇降機設置

### 新川文化ホール

(平成6年竣工)



県(ホール棟)と魚津市(会議室棟)の共同管理

### 現状

- 大・小ホールは、大掛かりな音楽劇から市民レベルの催事まで幅広い利用があるほか、展示ホールや会議室等も備え多様な催事に対応
- 県東部の芸術文化振興のための中核的な拠点施設
- 施設設備の老朽化等(築19年)により利用者ニーズへの対応不可
- 優れた音響設備の維持、利用者の利便性に配慮した管理が必要

### 整備計画

- 施設設備の老朽化に伴い計画的に改修を実施

＜H26改修予算 39,529千円＞

- 大ホール音響設備更新：基盤不良に伴う音切れ・雑音が発生
- ホール舞台照明設備ポーターケーブル更新：屈曲に伴う断線の恐れ
- 空調設備更新、構内道路白線引工事